２０２６年（令和８年）３月１４日　土曜日
デーリー東北　１３面　掲載

教員と学生の距離近く

やりたい勉強できて充実

八戸学院大地域経営学部
地域経営学科１年　細川（ほそかわ）　真里（まり）さん

ゼミの活動に取り組む細川真里さん

東京出身で、大学進学を機に母の実家のある八戸市に来ました。

今、私は大学で経営の勉強をしています。親戚が五戸町で桃の観光農園を営んでいて、その経営を手伝いたいと思ったことがきっかけです。現在、農園は家族経営ですが、会社としての形をつくることに携わってみたいと考えています。

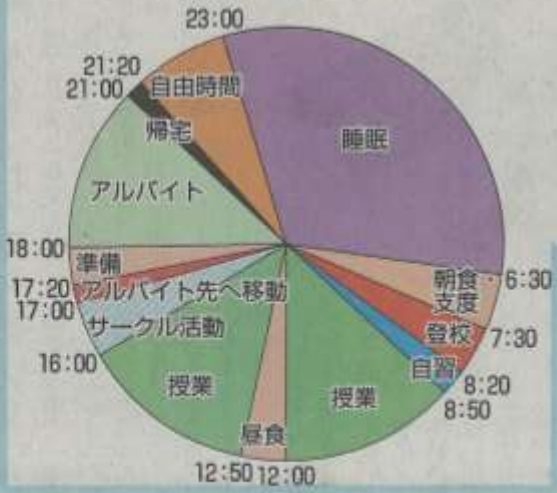
八戸学院大はスポーツが強い大学なので、活発な学生が多い印象です。あまり人数が多くないので、教員と学生の距離が近いのも特徴だと思います。

高校での勉強はテストのため、大学入試のためという側面が大きく、何に役立つのか疑問に思うこともありました。大学では、自分がやりたいことのための勉強ができて、とても充実しています。

高校から大学に進学し、自由度が上がったと感じます。校則などに縛られることが少ない分、だらけようと思えばだらけられます。いい意味でも悪い意味でも自己責任で、自分で自分を律することが必要だと感じています。

大学で学ぶ上で、夢や目標を持つことは重要です。実現のためにやってみた結果、違うなと思ったら変えるのもいいと思います。私も、今は経営を学んでいてマーケティングにも興味を持っていますが、他にもやりたいことがあり、将来は模索中です。何となく大学、ではなく、自分がやりたいことのイメージを持って勉強することが大切だと思います。

１日のスケジュール



※八戸学院大の地域経営学部地域経営学科は、4月1日から地域共創学部地域共創学科に名称変更されます。

デーリー東北新聞社提供